

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	りぷる		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 16日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障がい特性に応じて子どもたちが過ごしやすい環境を考え実践していること	聴覚過敏など環境に左右されやすい子どもについては、対応の部屋を分けたりすることで落ち着いて過ごせるよう取り組んでいる。	対応の結果どうであったかということを定期的に職員間でフィードバックを行ない、より子ども達の安心して過ごせる居場所となるように環境を整えていく
2	日頃から保護者とこどもの状況を話し合う機会を作っていること	送迎の際は可能な限り常勤スタッフが同乗し、引継ぎの際にそのこどもの状況を伝え合うことを意識している	知りえた情報は職員間で共有してチームとして共有する
3	日々の活動が固定化されないよう工夫している	5領域に基づいた総合的な支援をおこない、「ねらい」を持ってその子どもに応じた活動の立案をおこなっている。また、活動が固定化されないよう複数の活動を考えたうえで選択してもらおうなどの工夫をしている	職員同士での情報交換をしっかりと行ない、保護者への聞き取りも強化させた上で、子どもが楽しいと思えるような活動を企画していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どものとの交流の機会を持っていない	当法人の生活介護との交流や、仲良くさせていただいている放デイと合同で活動することはありますが、地域との交流のきっかけを確保することが難しい	地域と交流する機会を増やすよう検討していこうと思います
2	保護者会の開催や保護者同士の交流の機会を設けることができていない	定期的を開催する時間の確保が難しい	保護者も参加できるイベントを検討していきます
3	ペアレント・トレーニングや家族に対する研修会、情報提供の機会が不十分	視点が本人支援ばかりになっていること	家族支援に有益な研修や情報の発信を行なっていく